

学術研究活動表彰式

大学院生に対する
学術研究活動表彰式を実施

令和5年9月27日、学術研究活動表彰式を初めて実施しました。この制度は、大学院における学術研究活動で、特に顕著な業績を挙げたと認められる大学院生を表彰するものです。10名の受賞者には表彰状が授与され、校友会からAmazonギフト券が贈られました。表彰式後の意見交換では、国際学会で発表した感想や、研究活動に対する大学の支援等について様々な意見が述べられました。香川大学ではこれらの意見を参考に、大学院生の研究活動を推進する取組を継続していく予定です。

受賞者の声



たかした ともこ
高下 朋子

鳥取県米子市出身

創発科学研究科 創発科学専攻 1年
機能性材料科学ユニット

研究活動を振り返って

私は「Rare Sugar Congress 2023」に参加しました。この学会にて、私は希少糖分子どうしの相互作用について発表しました。この国際学会に参加して感じたことは会場のエネルギーが素晴らしい雰囲気です。学会に参加する全ての研究者が言葉の壁を越えて自身の研究を非常に楽しんでいる様子が伝わり、それまでに感じていた不安や緊張は吹き飛び、私自身も楽しかったことを覚えています。この学会を経て、研究者として自身の研究の面白さを伝えられるようになりたいと強く感じました。



博士フェスティバル

創発科学研究科博士後期課程の
スタートを機に、博士フェスティバルを開催

令和5年10月27日、博士後期課程の進学を促進する目的で初めて開催。末永慶寛創発科学研究科長から研究科のカリキュラムなどの説明の後、「香川大学大学院博士課程に期待するもの」をテーマに、パネルディスカッションを行いました。パネリストは、博士課程修了生を採用している企業、博士後期課程在学学生、博士前期・修士課程在学学生。企業でも博士号取得を推進する動きがあることや、研究のおもしろさなどについて発言がありました。質疑応答では参加者が熱心に質問し、関心の高さが見受けられました。当日は、対面・オンライン合わせて学生及び教職員107名が参加し、終了後のアンケート調査では、「イメージを具体的に想像できた」「博士課程への進学意向が高まった」などの声が寄せられました。



INFORMATION



博士課程紹介シリーズ

「好奇心に終わりはない!」の動画はこちらから